

令和 3 年度公立高等学校入学者選抜について

徳島県教育委員会教育創生課

令和3年度公立高等学校入学者選抜について

1 令和3年度公立高等学校入学者選抜における配慮事項について

新型コロナウイルス感染症の影響による、中学校等の臨時休業の実施及び今後の再流行のリスクも踏まえ、入学志願者が安心して受検に臨めるようにするため、次の点に配慮する。

なお、全日程を含む入学者選抜の「基本方針」については、6月下旬に公表する。

- (1) 3月に実施する一般選抜については、
例年は中学校で履修する教育課程全てを学力検査の出題範囲としているが、今回における出題範囲の扱いについては、8月下旬までに公表する。
- (2) 2月に実施する特色選抜については、
中学3年生時のスポーツ・文化関係の大会等の中止によって、特定の入学志願者が実績面において不利益を被ることのないよう、実施校全てにおいて実技や意見発表等を実施する。
また、特色選抜の学力検査の出題範囲の扱いについては、8月下旬までに公表する。
- (3) 新型コロナウイルスへの感染等により受検ができない入学志願者については、
受検機会の確保及び募集定員の弾力的な取扱いを検討する。
なお、実施方法等の詳細は、今後の感染状況を踏まえ、11月下旬までに公表する。

2 通学区域制の見直しについて

(1) 見直しに伴う令和2年度入学者選抜結果の概要

- ① 通学区域外から第3学区の普通科に合格した生徒数は、昨年度より25人増加した。
※ 平成31年度101人 → 令和2年度126人
- ② 徳島市内の公立中学校から徳島市外の普通科に合格した生徒数は、
昨年度と同数であった。
※ 平成31年度95人 → 令和2年度95人
- ③ 第3学区普通科5校全体における学区内外別合格者下位5人の平均点の差は、
昨年度より1.8点拡大した。
※ 平成31年度90.8点 → 令和2年度92.6点

(2) 令和3年度入学者選抜における見直しの内容（案）

学びの切磋琢磨を促進する教育環境を整備するため、通学区域制見直し（令和2年度から令和3年度入学者選抜にかけて）を、次のとおり行う。

- ① 第3学区において、
 - ・ 城東高等学校の通学区域を県内全域とする。（令和元年6月決定済み）
 - ・ 城南、城北及び徳島北高等学校への流入率を、募集定員の10%以内から12%以内に引き上げる。
 - ・ 徳島市立高等学校については、8%以内の流入率を維持する。
- ② 第1学区への流入率を、学区内総募集定員の15%以内から20%以内に引き上げる。
- ③ 第2学区への流入率を、学区内総募集定員の10%以内から12%以内に引き上げる。